

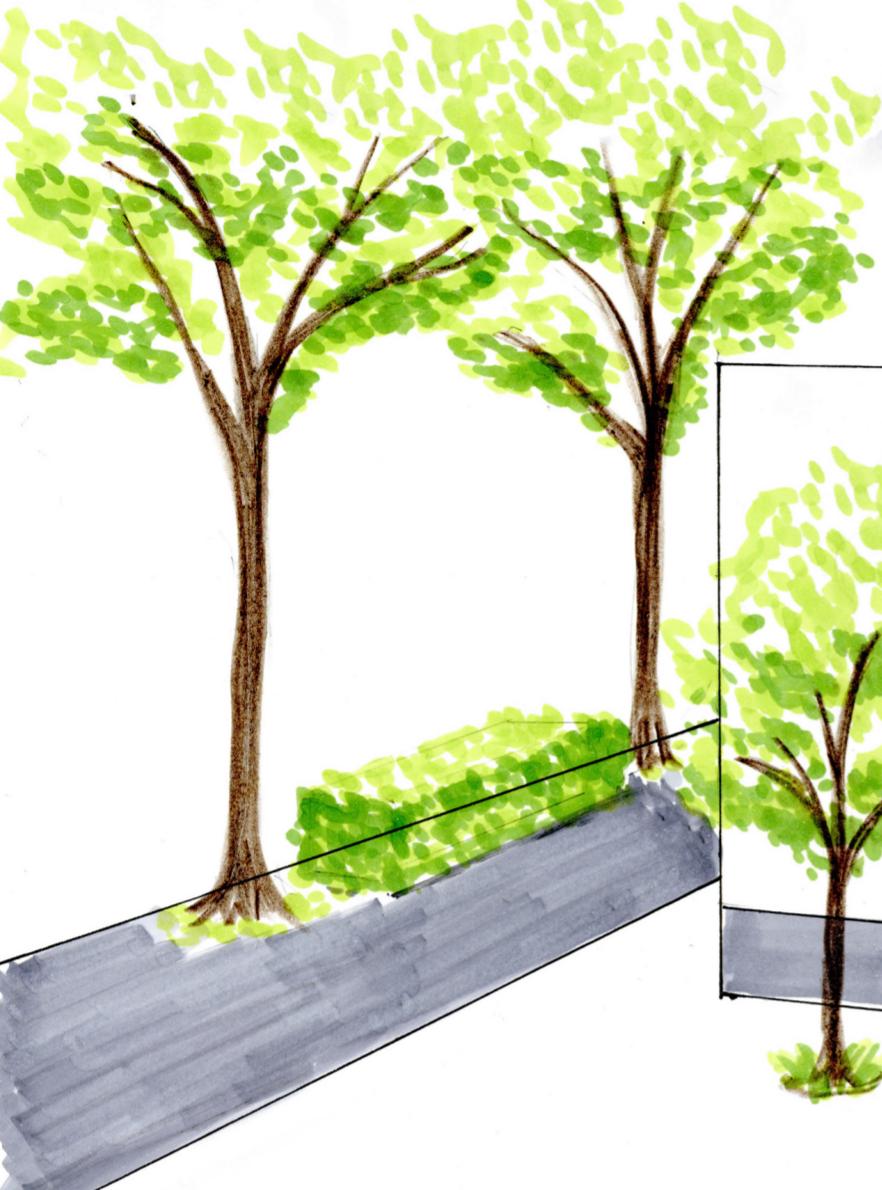
織られた住まい

一枚の布のように地に沿って広がる平野。

暮らし方や人との関わり方が多様化する中で、家族それぞれのリズムや気持ちのずれを、織り目のようにずらして重ね、無理なく寄り添える距離感をつくる。

階段状の隣接マンションと呼応して天井高を変化させ、空間にリズムを生み出した。

中庭や土間リビングが家族の関係をやさしく織り重ねる。



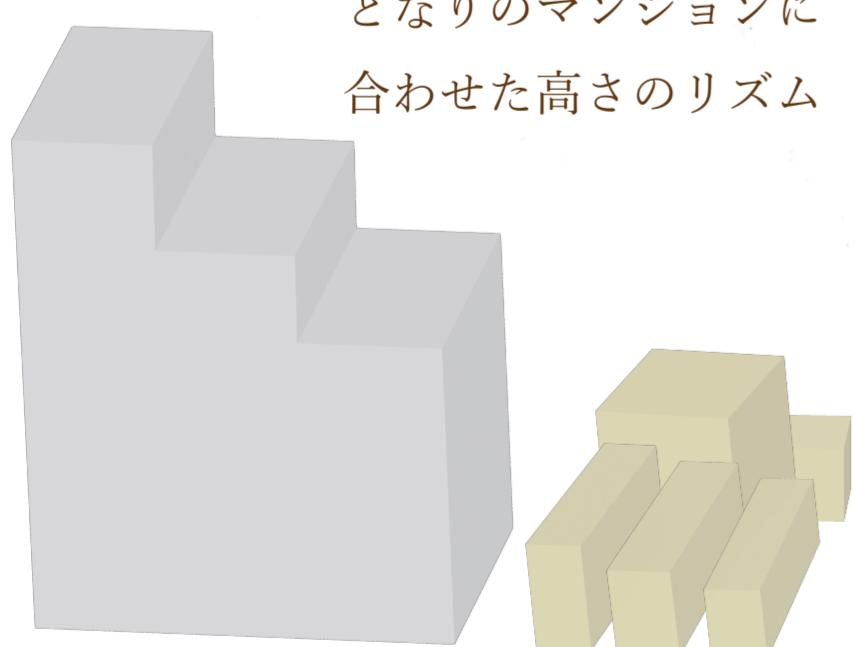
敷地について

所在地：名古屋市千種区新池町

周辺環境：バス通り沿いで、信号付き交差点に隣接、南に6階建てマンションあり
自然環境：「新池」や周囲の木々により自然を感じられる

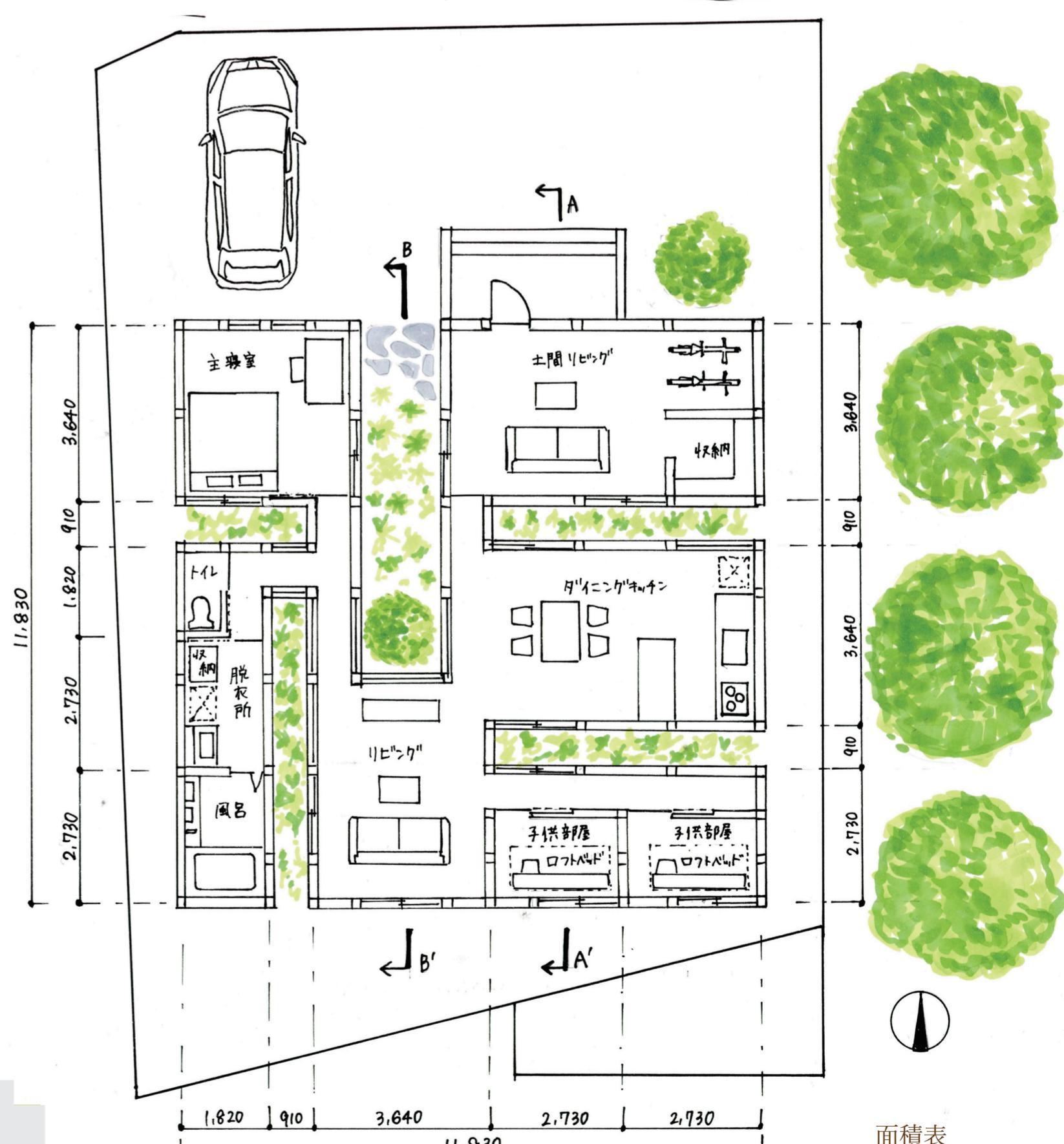


となりのマンションに合わせた高さのリズム



家族構成

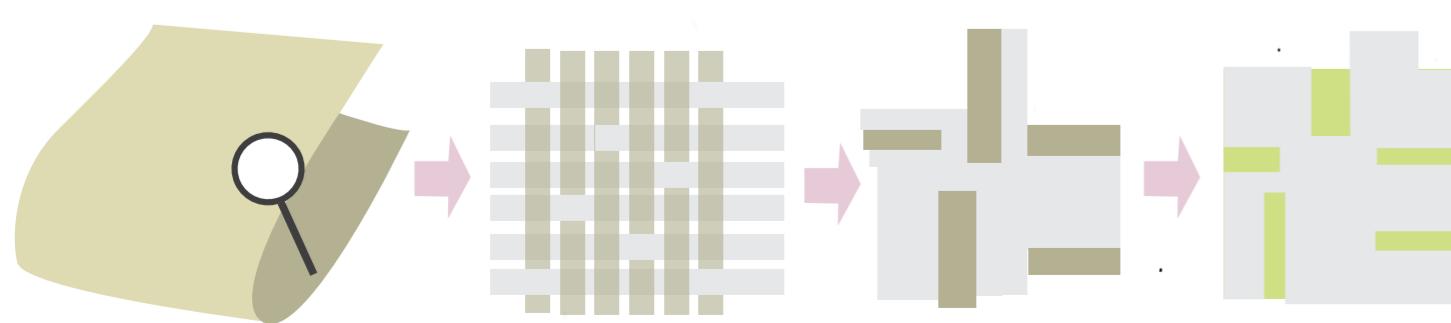
- ・父(50) 会社員
リモート勤務と出社を行き来しながら落ち着く場所を探す
- ・母(48) パート勤務
家事やパートの合間に家族と自然に関われる空間がほしい
- ・長女(19) 大学生
自室では集中、作業やくつろぎはリビングや土間に分散
- ・弟(14) 中学生
思春期。狭い個室と共有空間で家族と緩やかにつながる



面積表

敷地面積	280 m ²
建築面積	117 m ²
1F 床面積	117 m ²
延床面積	117 m ²
建蔽率	42%
容積率	42%

平面イメージ



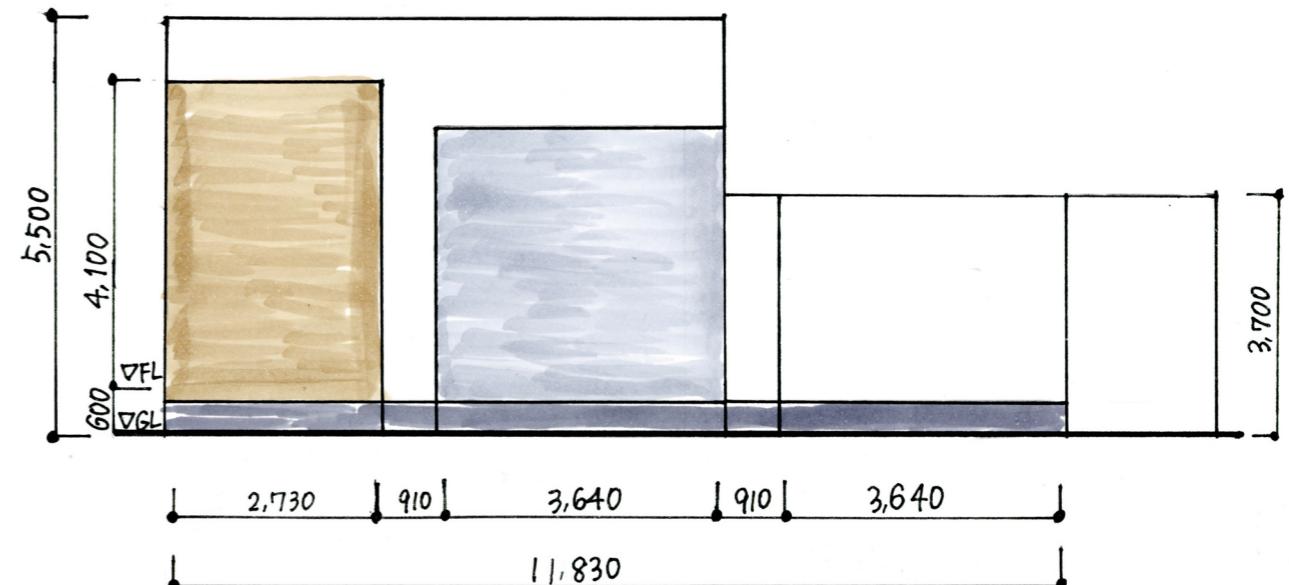
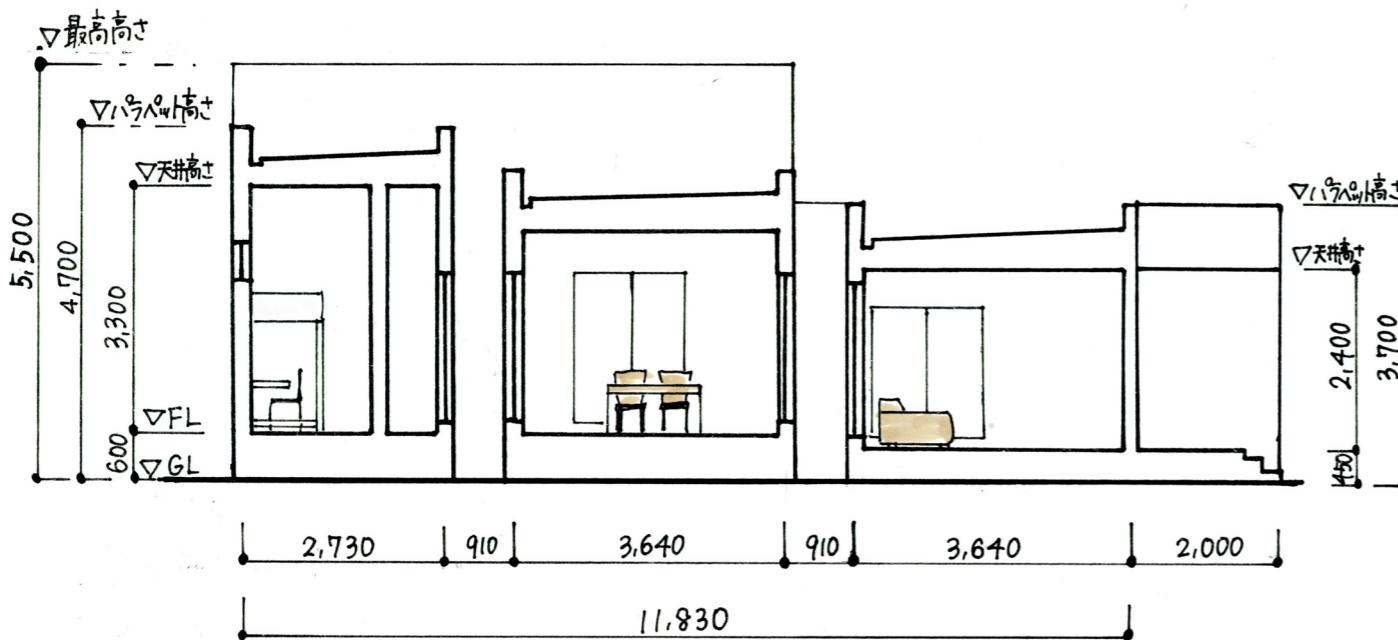
一枚の布を

拡大して

織り目を崩して

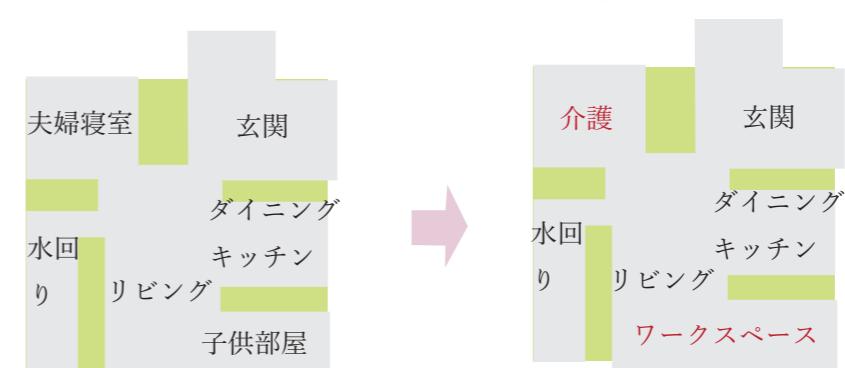
住宅に

配置図兼平面図 S1:100



10年後の社会に向けて
►多様化する暮らしと人間関係
働き方や家族構成、人との距離感が
より流動的になる未来。
織り目のようにずらされた空間配置
と中庭が、変化の中でも緩やかにつ
ながる関係性をつくる。

家族四人の生活を支える空間から、
高齢化や多様な働き方といった社
会の変化に対応する空間として柔
軟に編みなおされていく。



土間リビング

広めに取った土間は、家族
のくつろぎの場でありながら、
来客と気軽に会話が生
まれる場所でもある。
靴のまま座って話せる”内
と外のあいだ”にある空間



リビング

天井高4mの開放的なリビン
グ中庭に囲まれることで外の
つながりとうちの広がりが同
時に感じられる。
空間の中心として家族の時
間をゆったり受け止める。



最小限の子供部屋

あえてコンパクトに設定し、生活の中
心がリビングなど共有空間にじみ出る
構成独立後はワークスペースとしても
活用できる。
中庭の開放感との対比で小さな空間に
も豊かさを感じさせる。



夫婦寝室

夫婦寝室にはデスクを置いて父の在
宅ワークにも対応
►高齢化が進む社会を見据え、将来
は介護スペースとしての利用も想定

平屋の計画と寝室横のトイレ
配置により、高齢者が安全に
過ごせる動線を確保した。また、
広さとシンプルな形を活
かし、将来の介護ベッドや手
すりの設置にも対応可能とし
た。

